



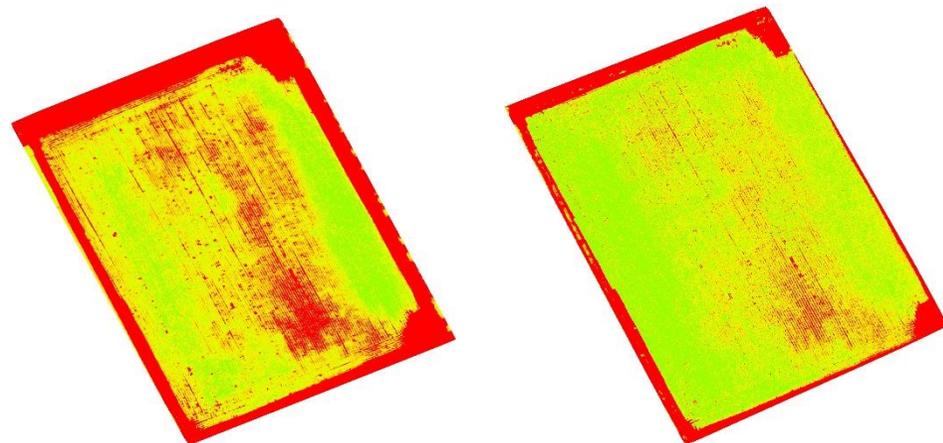
温暖化に伴う追肥の再認識！

九州管内では特に近年の著しい温暖化に伴い、緩効性肥料の分解も早くなっており、後半の肥料切れが問題となっています。

元肥一発施肥体系が主流となっている昨今ですが、今こそ追肥の重要性・見直しが必要なのではないのでしょうか？

今年実施した一例として、例年にない高気温による肥料切れ対策として、ファイン千代田の流し込み追肥を行い、NDVI値(植物の元気さを示す指標)をドローンで調査しました。

下記の画像は、赤色に近いほど生育不良、緑色に近いほど生育良好を示し、右の画像は追肥後に生育が改善した様子を表しています。



↑
追肥前

↑
追肥10日後

もはや異常気象が異常では無くなっているほど、厳しい気象環境下におかれているのも事実です！

もしもの時への対応にも、速効性の**千代田化成**を活用ください！

果樹のお礼肥えは 千代田化成

今年も記録的な猛暑が続いており、ちょっと外出しただけで大量の汗が噴き出てきます。電気代は気になりますが、クーラーなしでは生活できないほど、とにかく暑いです。そして、暑さで疲弊しているのは、果樹や野菜も同じです。太陽の光を浴びて沢山の果実を実らせた樹体に感謝(お礼肥え)することで、来年も沢山の果実を実らせてくれます。

今回は、お礼肥えの効果と、ぴったりの肥料の**千代田化成**について、ご紹介いたします。

お礼肥えの効果

- ① 着果負担で低下した樹勢の回復
- ② 耐寒性の向上
- ③ 翌年春の発芽と開花の準備

○月×日
日直
△△□□
△△□□

千代田化成の効果

- ① 少ない水分で素早く溶解します
- ② 根圏への拡散性が優れています
- ③ 素早く吸収されて効果を発揮します

○月×日
日直
△△□□
△△□□

収穫を終える頃は、気温が低下する時期の為、緑の葉っぱが活動しているうちに一刻でも早く千代田化成を施用してください。樹齢や品種、土壌条件等にもよりますが、**標準的には20~40kg/10a前後**が施肥量の目安となります。若木では施肥量をやや少なめに(70~80%程度)、また老木園では、一度に施肥しないで必要量を2回以上に分割して施肥することが吸収効率の向上にも繋がります。

収穫の感謝の気持ちを込めて、今年も**千代田化成**を施肥してください。